



## 農福・水福で町を元気に！

建設業を営む傍ら、農業、水産業と福祉が連携し、障がい者の就労を支援する事業に力を注いでいる桐原学区在住の奥井敦史さん。重度身体障がいの妹がいることで、思いが広がっていったそうです。水産業では、東近江圏域働き・暮らし応援センターのサポートを受けて、障がいのある人も琵琶湖に漁に出て、加工から販売までしています。一方農業では、食物繊維が豊富で免疫力を高めるビタミンDが多く含まれるキクラゲをハウスで栽培。ハウスの中は一定の温度で保たれており、体温調節の難しい人も働きやすいそうで、「就労中や将来を親御さんに安心してもらえるよう、障がいのある人だけでなく親御さんも一緒に働ける職場にしていきたい」と意気込みを語っておられました。